

霞

— 2023年度 博物館だより —

土浦市立博物館
令和5年4月1日発行(番外第10号)

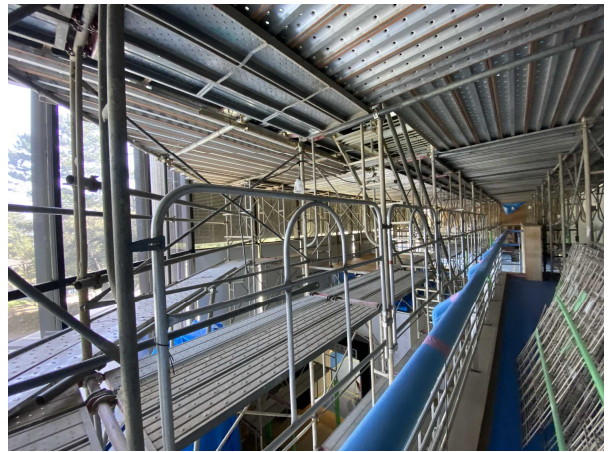
土浦市立博物館は、大規模改修工事のため、令和4年7月5日(火)から令和6年1月5日(金)まで休館いたします。博物館だより「霞(かすみ) 番外」では、毎月、工事の進捗状況や館外で開催する展覧会や講座の情報をお伝えします。休館中の「おうちミュージアム」(解説動画)では、土浦市内の史跡や文化財などの見どころを紹介します。

博物館は休館中！(10)「工事を進めています」

現在博物館内では、空調や配管などの工事が進んでいます。下の写真は、事務室と展示ホールの様子です。事務室は天井が取り払われ、これから撤去する配管や空調機に×印が付けられています。展示ホールには、高所作業用の足場が吹き抜けいっぱいにも組まれています。



配管が露出した事務室



足場が組まれた展示ホール

◆博物館からのお知らせ◆

●土浦市史資料集「土浦の文化財関係史料集」をご紹介します。

石碑や彫刻、絵画などに書かれている文字を読みたいと思ったことはありませんか？

本書は、国宝、国・県・市指定文化財や重要美術品などに書かれている文字を翻刻(ほんこく)して収録したものです。普段は見ることのできない仏像の胎内銘(たいないめい)や、難解なくずし字の翻刻などが収録されており、文化財に遺された文字を読むことができます。

2ページで紹介している「五十嵐愛山墓碑」も全文が収録されています。

総ページ数 310ページ

刊行年 平成23年3月

収録文化財の数 156件

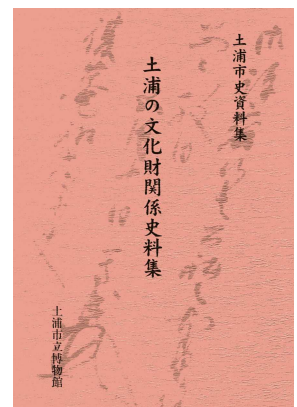
※土浦市立図書館に配架しています(3階地域資料コーナー)。貸し出しもできます。

購入する場合 1,300円

購入方法 土浦城東櫓で販売しています。郵送でのご購入をご希望の方は代金を現金書留または郵便局の定額小為替で、送料360円分の切手を同封のうえ、下記住所までお申し込みください。

宛先 〒300-0043 茨城県土浦市中央2丁目16-4 亀城プラザ2階 土浦市立博物館仮事務所

※亀城プラザ移転期間(2023年11月末まで)の宛先です。



2023年4月 おうちミュージアム解説

いがらしあいざんぼひ

五十嵐愛山墓碑

— 碑文が語る郁文館の秀才 —

土浦藩の藩校郁文館は天保10（1839）年、新築・移転しました。跡地（土浦第一中学校敷地）には建物のうち、門が「郁文館の正門」（市指定文化財）として現存しています。この門をくぐって学んだ藩士の子弟には、昌平坂学問所（昌平黌）に進んだ秀才がいました。そのひとりが、今回ご紹介する五十嵐愛山（1819～74）です。

愛山の墓（市指定文化財）は「郁文館」の向かい、神龍寺の墓所の一角にあります。愛山は儀一と称し、字は三省、諱を師曾、愛山・巽谷はその号です。碑文には、「勤めに励み、酒は楽しく呑むただが少量で酔い、性格はひかえめでおだやか。領民たちからも親しまれた」と書かれています。

幼いころは嬉戯（遊び）をせず読書や習字を好み、近所で珍しがられたとのこと。郁文館に入学すると藤森弘庵（1799～1862）が待っていました。弘庵は、教育の力で藩を興隆させるため、土浦藩が江戸から招いた儒者です。弘庵は優秀な愛山をかわいがり、昌平坂学問所で学ぶことを勧めます。こうして愛山は諸藩から集まってきた優秀な藩士らと江戸で学ぶ機会を得たのでした。土浦に戻ると、弘庵が去ったのちの郁文館をまかせられ、藩主寅直の侍講（講義担当）として藩の政治にも加わりました。

愛山が生きたのは、幕府が滅び明治時代が始まる激動の時代でした。愛山が直面した大事件が、元治元年（1864）年6月、天狗党による筑波山立てこもりです。愛山は筑波山に乗り込み、土浦藩領への侵入の非を説き、そのため天狗党に軟禁され、山中で7日間を過ごしました。

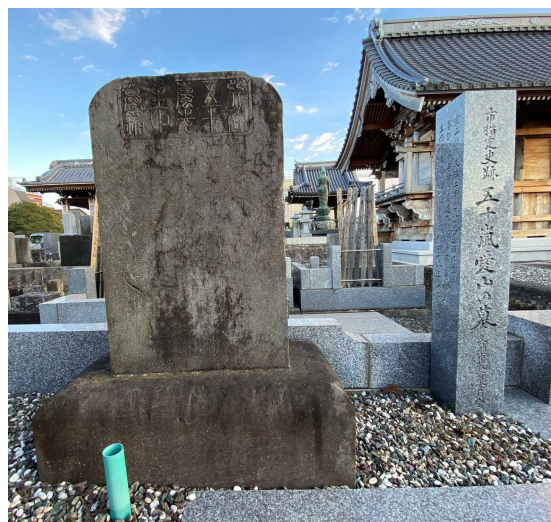
碑文はこの事件について何も語っていません。撰文した木原老谷（1824～83）も、愛山同様、郁文館で弘庵に学び昌平坂学問所に進学した人物です。激動の時代を生きたのち、静かな余生を望んだ愛山の生涯を語るのに、つらい記憶を残す必要はないと考えて文中に加えなかったのかもしれません。

明治4（1871）年、廃藩置県によって土浦藩が廃されると、愛山はどこにも勤めませんでした。碑文の言葉を借りましょう。

「湖のほとりに家を買ひ、小舟を浮かべて景色を楽しみ、漁師たちと酒をのんだり、詩を作ったりして人間社会のことには関心をもたなかった」。

「巽谷五十嵐先生之墓銘」と堂々とした篆書で墓石に題字を添えてくれたのは、同じく弘庵門下の川田養江（1830～96）で、「古事類苑」の編さんで知られる著名な漢学者です。明治7年、56歳で人生を閉じた愛山が同門に愛されていたことを、碑文は静かに語ってくれています。

（木塚久仁子）



五十嵐愛山の墓（神龍寺）市指定文化財



左のQRコードから解説動画のウェブページへアクセスできます。

霞（かすみ） 2023年度 博物館だより（番外第10号）
編集・発行 土浦市立博物館 茨城県土浦市中央1-15-18
TEL 029-824-2928 FAX 029-824-9423
<http://www.city.tsuchiura.lg.jp/page/dir000378.html>

博物館だより「霞」番外第11号の刊行は5月2日（火）を予定しています。

※博物館だより「霞」は、当館ホームページからもご覧になれます。（カラー版）